



日本共産党

北区議会議員

のの山けん区政レポート

http://www3.kitanet.ne.jp/~nonoyama/ E-mail nonoyama@kitanet.ne.jp

No.74 2009.2.19

発行

のの山けん事務所

〒115-0044 赤羽南1-17-6

ご相談は
お気軽に

090-2156-3510

厚労省が4月から実施予定の要介護認定方式

介護判断基準を大改悪

現行テキストでは「全介助」と判断される

重度寝たきりの人も「自立」に

厚生労働省は4月から介護保険の要介護認定に新方式を導入しようとしているが、認定の軽度化に拍車がかかり、利用者の生活に深刻な打撃を与える恐れが出てきたことが「しんぶん赤旗」2月16日付で明らかになりました。

聞き取り調査に新しく使われる『認定調査テキスト』では、これまで「全介助」と判断されてきた重度の寝たきり状態の人でも、介助自体が発生していないとして「自立」を選択するよう迫っています。症状がより重く、体を動かせない人から「介助の手間がかからないから」と介護サービスをとりあげるやり方は、人道的にみても矛盾だらけです。

北区では独自基準による「認定ランク下げ」が大問題となってきたが、実態からかけ離れた厳しい基準を全国的に押しつける今回の新方式に、利用者の怒りが広がることは必至です。



認定調査員テキストの主な変更点

調査項目	利用者の状態	旧テキスト	新テキスト
移動・移乗	移動・移乗の機会がない重度の寝たきり状態	「全介助」	「自立（介助なし）」
食事摂取	中心静脈栄養（高カロリー液の点滴）のみで口からは食べていない	「全介助」	「自立（介助なし）」
まひ等の有無	調査時に手足を持ち上げることはできたが日常生活に支障がある	日常生活上の支障があればまひありとする	日常生活上の支障は評価しない
薬の内服	現在、薬の内服はないが、処方された場合は重度の認知症があるため自分では内服できない	能力を総合的に勘案して判断	「自立（介助なし）」
はみがき等・洗顔	本人の生活習慣で行っていない	能力を総合的に勘案して判断	「自立（介助なし）」

2月23日から北区議会第1回定例会

日本共産党
北区議員団

23日（月）

24日（火）

中川区議が代表質問、さがら・のの山区議が個人質問



2月23日から3月23日まで北区議会第1回定例会が開かれます。今議会では、2009年度予算の審議もおこなわれます。

日本共産党北区議員団からは、代表質問に中川大一区議（23日・13時頃）、個人質問に、さがらとしこ区議（24日・10時半頃）、のの山けん区議（24日・14時頃）がたちます。

のの山区議は、指定管理者制度の問題点を検証する（①いま浮間東保育園では何が起きているのか、②浮間東保育園に関する区の対応と責任について、③指定管理者制度に関する当面の対応について）、保育制度の大改悪を許さないために、の2点について区長の見解を問います。

志茂・赤羽後援会
新春のつどい

解散・総選挙、都議選で 日本共産党の躍進を

14日、赤羽会館小ホールで日本共産党志茂・赤羽後援会主催の「新春のつどい」が開かれ、80人が参加しました。

のの山けん区議の司会で開会、第1部は「おたのみ演芸」で古今亭八朝師匠（写真左）が登場。落語で会場を笑いの渦に巻き込みました。八朝師匠は、昨年発売された、後期高齢者医療制度を批判する『どうすりゃいいのさ高齢者』を熱唱。作詞の影山マキさん（赤羽在住）、作曲の宮川つとむさん（王子在住）も会場にかけつけました。

第2部では、乾杯の後、のの山区議がミニ区政報告。来年度から北区の介護保険



そねはじめ都議、池内さおり氏が決意表明

料が引き下げられることや、東京北社会保険病院について社会保険庁が「存続・拡充」を表明したことなど、「旬」な話題が提供されました。

続いて、今夏の東京都議会議員選挙をたたかう、そねはじめ都議（写真右上）があいさつ。「オール与党都議会から都民本位の都政の転換へ、日本共産党の躍進を」とよびかけました。

池内さおり衆院東京12区青年運動部長（写真右下）は、雇用や後期高齢者医療制度の問題にふれつつ、「自公政治のゆきづまりは深刻です。一刻も早く解散・総選挙をかちとり、国民の審判を下しましょう」と訴えました。

